



イラク：首班指名をめぐる情勢

2014年8月11日、イラクのマアスーム大統領はハイダル・アバーディー国会第一副議長に組閣を命じる大統領令を発出した。組閣猶予期間は1カ月間である。アバーディー氏はダアワ党の幹部で、7月15日に国会の第一副議長に選出されていた。今般の首班指名には、「国民同盟」という会派に所属する議員173名中、130名からの支持があったとされる（11日付『ハヤート』）。これに対し、三期目続投を目指すマーリキー首相は、既に10日のうちにバグダード市内の要所に装甲車などの治安部隊を展開させ首班指名に対抗している。同首相は、首班指名発表後直ちにこれを拒否し、憲法違反でマアスーム大統領を訴える意向を表明した。マーリキー首相は、自らが選挙で第一党となった「法治国家連合」（院内会派として103議席を保有）の代表であり、自身が首班指名を受けべきとの立場をとっている。

一方、これまで「イスラーム国」に対抗するためには挙国一致内閣編成が必要であるとの立場からマーリキー首相を退任させようとしてきたアメリカは、首班指名を歓迎した。

評価

今般の首班指名により、イラクの政界は依然として政治勢力間の合従連衡を繰り返していることが明らかになった。4月に行われた国会議員選挙の結果（『中東かわら版』2014年 No. 33）によれば、マーリキー首相が代表を務める「法治国家連合」が第一党であり、同首相が首班指名を受けることが当然のように思われるかもしれない。しかし、2010年の選挙の際にイラク憲法第76条の「国会の最大会派が首相候補を擁立する」との規定を「選挙結果での第一党」ではなく、「議会召集後に形成された最大会派」と解釈し、選挙後に首班指名を受けたのはほかならぬマーリキー首相自身である。それ故、論理的にはマーリキー首相を退任させようとする政治勢力は、マーリキー首相が率いる会派よりも多数となる会派を形成し、そこから首相候補を擁立すればよい、ということになる。実際、上に挙げた「国民同盟」は、4月の選挙で議席を争った選挙同盟ではない。「国民同盟」は、議会召集の過程で再編・形成された会派と思われる。その上、マーリキー首相の主張に見られるように、同首相の続投への立場に応じて各会派の所属議員の数、果ては個々の会派の存在の有無に至るまで、解釈が異なる状況のように思われる。

いずれにせよ、このような多数派争い、会派形成はイラクの有権者にとって非常にわかりにくいものだろう。その上、選挙結果が出た後で諸政治勢力が合従連衡を繰り返し、その度に新たな政治同盟や会派が発足する状況は、そもそも選挙の際に各選挙連合が掲げる公約や綱領、ひいてはそれに投票した有権者の意思をもないがしろにすることを意味する。イラクでは長らく政治空白が続き、不平不満を内閣や議会を通じて平和裏に解決する機能が失われていた。これこそが、6月以降「イスラーム国」が攻勢に出てイラクの広範囲を占拠することを可能とした重要な原因のひとつである。それ故、早急な組閣などを通じて政治体制の機能を回復するこ

とが「イスラーム国」への対策を筆頭とするイラクの政治・治安情勢の改善に必須なことと考えられてきた。しかし、この度、またしても有権者の投票行動や意向をないがしろにする合従連衡の結果としての首班指名が行われたのである。

今後、組閣が迅速に行われるか否かはマーリキー首相や「国民同盟」以外の諸会派の対応、特に組閣にあたり、政治的役職や権益をどのように分配するかにかかっている。しかし、今般の首班指名そのものが、イラクの政治体制を機能不全にした政争の産物である以上、仮に組閣が順調に行われても、新政府が「イスラーム国」の増長やイラクの分裂のような重要課題に有効な対策を講じることは望み薄といえよう。一連の動きは、イラクの政治体制そのものが危機に瀕している中、イラクの政治家やこれまで様々な形でイラクの政治体制に関与してきた諸外国の危機意識・当事者意識の低さを象徴している。

「イラク：国会議員選挙の結果（速報値）の発表」 『中東かわら版』2014年 No. 33
<http://www.meij.or.jp/members/kawaraban/20140521105145000000.pdf>

イラクの国会での人事・組閣をめぐる政争や諸政治勢力間の合従連衡の経緯については以下を参照。

山尾大 2010 「多数派形成ゲームとしてのイラク選挙後危機——2010年3月国会選挙後の権力分有をめぐる合従連衡」 『中東研究』No. 510 76-91頁

山尾大 2013 「米軍撤退後イラクの政治対立と合従連衡」 『中東研究』No. 515 55-68頁

（高岡上席研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799